ターゲットタンパク研究から見える未来3

平成21年度ターゲットタンパク研究プログラム公開シンポジウム

◉入場無料（ただし交流会は会費制）◉参加対象：一般 ◉定員：500名

平成22年3月5日（金）

東京国際フォーラム ホールB5

東京都千代田区丸の内3-5-1

JR有楽町駅　国際フォーラム口より徒歩1分
JR東京駅より徒歩5分
（京葉線東京駅とB1F地下コンコースにて連絡）
東京メトロ有楽町線　有楽町駅D5出口より徒歩1分
（B1F地下コンコースにて連絡）

主催：文部科学省ターゲットタンパク研究プログラム公開シンポジウム運営委員会

後援：日本核磁気共鳴学会、日本寄生虫学会、日本結晶学会、日本ケミカルバイオロジー学会、日本細胞生物学会、日本植物生理学会、日本生化学会、日本生物物理学会、日本製薬工業協会、日本蛋白質科学会、日本農芸化学会、日本分光学会、日本分子生物学会、日本放射光学会、日本薬学会

本シンポジウムではタンパクと生物の関係をわかりやすく解説し、最新のタンパク研究が将来どのように発展し世の中に反映されていくのかを紹介します。今年度ノーベル賞受賞のアダ・ヨナス博士の講演（同時通訳及び解説有り）をはじめ世界の最先端をいく研究者達が講演やフロアーでポスターを使って成果を報告します。どなたにもタンパクの不思議と最先端研究にふれる良い機会となるでしょう。

10:00〜10:03　開会挨拶

10:03〜10:13　文部科学省挨拶
文部科学省

10:13〜10:30　**タンパク質の構造研究のいま**
月原 冨武（兵庫県立大学）

10:30〜10:40　**招待講演者紹介・解説**
横山 茂之（理化学研究所）

10:40〜11:40　**招待講演**
Ada E. Yonath（2009年度ノーベル化学賞受賞者）
【解説】横山 茂之（理化学研究所）　※同時通訳有

11:40〜13:00　**ポスターセッション1**

13:00〜13:30　**植物はいかにしてストレス環境に適応するか ～アブシジン酸シグナリングの構造基盤～**
田之倉 優（東京大学）

13:30〜14:00　**植物の生長に関わるシグナル受容因子の構造と機能**
松岡 信（名古屋大学）

14:00〜14:30　**核酸およびレドックス調節パスウェイを標的とする抗トリパノソーマ薬の開発**
北 潔（東京大学）

14:30〜15:00　**情報プラットフォーム：プログラムにおける情報共有と情報発信 ～ターゲットタンパク研究の最新動向を知るには～**
菅原 秀明（国立遺伝学研究所）

15:00〜16:30　**ポスターセッション2**

16:30〜17:00　**ギャップ結合チャネルの構造とチャネル作動機構**
月原 冨武（兵庫県立大学）

17:00〜17:30　**直鎖状ポリユビキチン化：NF-kB活性化に必須な新たなユビキチン修飾系**
岩井 一宏（大阪大学）

17:30〜18:00　**小胞輸送における膜のリモデリング**
若槻 壮市（高エネルギー加速器研究機構）

18:30〜20:00　**交流会（会費：¥4,000）**

【参加申込方法】ホームページ上の申込フォームよりお申し込みください。お申し込みの際に整理番号をメールにて通知いたします。シンポジウム当日は整理番号を受付にご提示ください。
整理番号がない場合、ご入場できない可能性がございますのでご了承ください。

【交流会への参加方法】ホームページ上の申込フォームよりお申し込みください。会費は当日、受付にてお支払いください。（会場の都合で、当日の参加申込はお受けできない場合がございます）

【お問い合わせ先】シンポジウム事務局　〒102-0072　東京都千代田区飯田橋3-11-15　UEDAビル6F　Tel:03-3238-1689　Fax:03-3238-1837　E-mail:symposium@kuba.jp

申込みはこちらから **http://www.tanpaku.org/**